

ともしび保育園



2019年（令和元年）5月7日 発行



新年度スタートから1か月経って



新しい年度が始まり1か月が経ちました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中懇談会にご出席いただき誠にありがとうございました。私は着任して間もないですが、お声を掛けていただくなど、当園が常日頃皆様から温かいご支援を頂いていることを肌で感じました。今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、入園間もない頃はずっと泣いていた乳児さんも少しずつお部屋に慣れてきて、保育者との間にも信頼関係の基礎が築かれつつあるように思います。逆に緊張から大人しくしていた子どもたちが、気持ちのほぐれとともに少しずつ素の感情を出すようになってきています。保育者は一人一人の子どもたちの“今”の気持ちに寄り添い、それを受け止めつつ、保育園で過ごす時間をより心地良く感じてもらえるように努めています。

子どもたちの園での様子は保育者からお伝えするようにしていますが、お話しができるようになったお子さんには、ぜひ保護者の皆様から「今日は保育園で何をして遊んだの？」と聞いてみてください。もしかすると楽しいお話とともに、保育者には言えなかったことを話してくれるかもしれません。まだお話しができない子どもたちも含め、もしお子さんの話や様子で気になることがございましたら、保育者にお伝えください。ご家庭と保育園、お子さんがそれぞれで見るさまざまな様子を保護者の皆様と保育者の間で共有し、子どもを多面的に理解することは、子どもの健やかな育ちにとってとても大切なことだと思います。



大人にも五月病という言葉がありますが、園児たちも少しずつ慣れてきているとはいえ、新しい環境での生活に適応する上での疲れが溜まってきている時期で、必ずと体調も崩しがちです。くれぐれも無理をなさらず、栄養や休養をしっかりとって良い「令和」のスタートをお迎えください。



園長 山田 英